



第 1 0 6 号

令和 7 年 5 月 30 日 発行

新潟教育会報

公益財団法人新潟教育会

(新潟教育会館内)

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町590番地3号

TEL・FAX: 025-222-2971 E-mail: jimu@kyouikukai.jp



新潟教育会
ホームページ



「今こそ、心を育てることを大切に」

公益財団法人新潟教育会 代表理事 **大橋 伸 夫**

ここ1年の間に、長野県に2回旅行した中で、「さすが長野県」と感じたことがありました。それは、信号機のない横断歩道を渡るうとするたびに、必ず車が止まってくれたということです。長野県は、JAFのデータによる信号のない横断歩道の一時停止率が、9年連続で1位であることをまさに実感しました。新潟県も、2023年は、23.2%で最下位であったのが、2024年は、49.0%で29位と大きく改善しています。このことが関係しているかは分かりませんが、歩行者が止まってくれた車に対して感謝の気持ちを示している姿が増えているように感じています。どちらが先ということではありませんが、互いに思いやる気持ちが、数値等に表れているのだと信じています。

いじめ問題が深刻化したことを受け、文部科学省は「道徳」を特別な教科として位置付けましたが、小学校の学習指導要領の解説編の中には、次のように書かれています。「指導に当たっては、積極的に行うべきよいことと、人間としてしてはならないことを正しく区別できる判断力を養うことが大切である。また、よいと思ったことができたときのすがすがしい気持ちを思い起こさせるなどして、小さなことでも遠慮しないで進んで行うことができる意欲と態度を育てる指導を充実していくことが大切である。」

新年度が始まり、近所を歩く小学生・中学生が、横断歩道で止まってくれた車に対してお礼する姿を目にすると、とても清々しい気

持ちになります。同時に、大人と子供の間で、大切な心を伝え合う機会にもなっているのではと感じています。

変化が激しい社会の中、インターネットやSNS等によるいじめや他に対する誹謗中傷等、人権にかかわる問題がたくさん起きています。パソコンやスマホ等で簡単に拡散する時代だということを思い知らされます。しかし、最後の確定ボタンを押すか押さないかは、その人の心にかかっています。「押してはいけない」という判断ができる心を育てていくことが、今こそ大切だと感じています。子どもたちには、様々な経験をする中で、常に他者を意識し、その他者との関わりの中で、様々な価値観に触れ、自分自身に問い直すことで、価値観を広げ深めていってほしいと願っています。その中で、人として大切な心を育てていってくれることを期待しています。もちろん、私たち大人も、子供たちの良き見本として、自分の心をアップデートし続けることが大切なのは言うまでもありません。

新潟教育会は、公益財団法人になってから14年目を迎えております。昨年度の夏季大学講座には、教育関係者以外の方からも多数参加いただきました。今後も、教育関係者はもとより、多くの県民の方が学ぶ機会を提供し続けることは、新潟教育会が公益財団法人としての実績を重ねていく上で大切なことの一つになると考えております。

皆様からの積極的な参加と変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

令和7年度の事業計画

令和4年の設立50周年を機に、これまでの事業を総点検し、新しい時代に即した持続可能な事業となるよう、改善を進めています。

- 1 教職員・退職された皆様、県民の皆様が負担なく、進んで参加してみたいと思える事業にしていく。
- 2 厳しくなっている財政面でも、予算を有効に活用し、計画的に事業や教育会館の施設・設備を改善する。

1 研修講座

※ 詳しくは、右ページをご覧ください。

(1) 教師力アップ講座

最新の教育課題への対応理論と具体的な指導方法を学び、教師力を磨く講座です。

- ・日時：7月19日(土) 9:45~15:00
- ・会場：新潟教育会館
- ・内容：第1講座：「子ども一人一人の自律性を支援する授業づくり」
第2講座：「子ども一人一人が自走する学びに向かう单元づくり」

(2) 第50回 教育相談研修会

子どもたちや、保護者への教育相談的な対応、支援方法、信頼関係の確立や児童生徒理解の力量を高めるための研修講座です。

- ・日時：8月5日(火) 9:15~16:45 6日(水) 9:15~15:00
- ・会場：新潟教育会館

2 第26回 教美展(新潟教育会美術展)

※ 隔年で実施しています。

教美展は、^{ビエンナーレ}（2年に1度）の形となり、今年度は、開催の年にあたります。力作の作品展示に、どうぞご期待ください!!

- ・日時：9月23日(火・祝日)~28日(日) 9:30~17:00 (28日は、15:00まで)
- ・会場：新潟県民会館 3階 ギャラリーA ※ 作品募集案内、案内ハガキをご覧ください。

3 特別支援教育への助成

特別支援教育で成果を上げている学校に5万円の助成を行います。また、その成果を広く知っていただくために、助成校の取組を会報等で広く紹介します。

4 教育アドバイザーの派遣

要請に応じて、豊かな経験と知識、技能をもつ教育アドバイザーを教職員や保護者等の研修活動に派遣します。謝礼(1回分)を新潟教育会が負担します。団体研修、個人研修でも派遣は可能です。子育て出前講座、リモートによる研修にも対応します。

5 教育スペシャリスト育成事業

※ 詳しくは、右ページをご覧ください。

教職員の研究意欲と資質・指導力の向上を目指して、3年間に渡って実施する事業です。実践と研究に取り組んだ成果を「研究論文」にまとめます。審査を経て、応募者に研究活動費を助成します。また、最優秀論文・優秀論文執筆者には研究助成金を贈呈します。

6 新潟教育会館施設・設備の利用促進と資料室の整備

研修や教育・文化活動のための教育会館施設・設備の利用促進と環境整備に努めています。Wi-Fi環境が整っていますので、リモート研修等のホスト会場としても利用可能です。

また、資料室の書籍やデータを整理し、活用しやすいようにデータベース化も進めています。

7 新潟教育会館施設・設備の利用促進と資料室の整備

『新潟教育会要覧』『新潟教育会報』『新潟教育研究所報』『新潟教育会ホームページ』等により、最新の情報をお届けします。

※ 「夏季大学講座」は、令和8年度新潟市で開催する予定です。

上半期の 事業PR

上半期で注目の事業は、7～8月に開催・募集
する3つの事業です!!

案内チラシ・募集要項がお手元に届いていると
思いますので、ぜひご覧ください。

たくさんの方の

参加・応募をお待ちしています。

1 教師力アップ講座 (参加費無料)

社会は急速な変化と子どもたちの多様化から、日本の教育全体の
変革が求められています。令和の新しい学習観へのアップ
デートは、進んでいますか?今年度の「教師力アップ講座」で
は、昨年度の参加者から今年度も開催して欲しいと多くの要望
があった「個を生かす教育」について、継続して学びます。

- ・第1講座(午前)…子ども一人一人の自律性を支援する授業づくり
- ・第2講座(午後)…子ども一人一人が自走する学びに向かう単元づくり

講師 堀田 雄大 様 (新潟青陵大学)

落合 悠太 様 (新潟市立女池小学校)

今年度も1日を通した講座ですが、午前のみ、午後をみの参加も可能です。



2 教育相談研修会 (参加費無料)

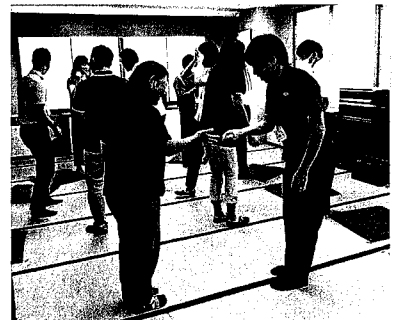
大きな変化を余儀なくされる学校現場では、改めて、人の話を
聴くことが大切にされています。

教員は、日々気がかりな子どもへの対応に苦慮したり、保護者
への教育相談をしたりしています。「教育相談研修会」は、児童
生徒・保護者との関係づくりに必要とされる力量を高め、さらに
教員自身の人間関係力を向上させることに役立つ研修です。

講義や演習、ロールプレイを通して、臨床カウンセリングにつ
いて一緒に学んでみませんか。

明日からすぐに役立つ、リピーターの多い人気の研修です。

今年度は、参加者・指導者の要望に応じて、1日半から2日間の日程で行うこととしました。
実習単位は、各種資格取得の際に役立ちます!!



3 教育スペシャリスト育成事業

教職員の研究意欲と資質・指導力の向上を目指
して、令和5年度にスタートした事業です。3年
間に渡って実施する事業です。

研究内容を審査の上、応募者には、研究活動費
(1万円)を助成します。

応募者は、2年間に渡り実践と研究に取り組み、
成果を「研究論文」にまとめ、提出します。

論文審査を経て、

最優秀論文 (5万円)

優秀論文 (3万円)

入選論文 (1万円)の研究助成金を執筆者
に贈呈します。(第1期は14名の応募者がありました。)

入選以上の論文は、新潟教育会HPに掲載しま
す。また、入選以上の論文執筆者には、3年次、
研究のブラッシュアップに取り組んでいただきま
す。

(令和7年度：第2期の募集・第1期3年次)

第2期 教育スペシャリスト育成事業3年間の流れ

締め切り(令和7年7月)までに応募



- ・審査、ガイダンスの実施
- ・研究活動費(1万円)の助成

【1年次・2年次】全応募者の取組
指導者からの指導を受け、研究・実践
論文執筆、提出



- ・論文審査
- ・研究助成金の贈呈
- ・入選以上の論文を教育会HPに
掲載

【3年次】論文の入選者の取組
研究のブラッシュアップ
3年次の取り組み結果をまとめて報告

公益財団法人新潟教育会とその歩み

- 新潟教育会は、県から認定された法人であり、公益を目的とし法の適用を受けている公益財団です。
- 当会の目的は、「教育助成や教育相談並びに教育研究などを行い、もって教職員の資質の向上や県民の教育に対する関心を高め、県教育の進展に貢献すること」です。
- 文化勲章を受章された漢学者 諸橋轍次氏や(株)吉池社長 高橋与平氏他、当会の目的に賛同する数多くの方々から寄せられた多くの浄財寄付を原資として、昭和47年（1972年）に新潟県教育委員会からの許可を受けて、当会は設立されました。
- 平成24年（2012年）新潟県の認定を受け、登記を経て「公益財団法人新潟教育会」に移行し、教育関係者及び一般県民を対象として、様々な事業を継続・発展してきました。
- 令和4年（2022年）、財団法人設立50周年・公益財団法人10周年を迎えました。これを機に事業を見直し、新しい時代に即した持続可能な事業へと改善を進めています。
- 予算規模（基本財産約3億円）
 - ・収入 約1,200万円（寄付金、預金利息等）
 - ・支出 事業費 約900万円
管理費等 約300万円

新潟教育会の歩みがわかる動画



【諸橋轍次氏】

令和7年度 新潟教育会役員

※順不同

代表理事 大 橋 伸 夫
理 事 森 正 司
脇 野 哲 郎
小 海 信 幸 子
村 川 孝 子
山 田 浩 之
監 事 鷺 津 毅 史 子
須 貝 育 子
前 田 綾 子

評 議 員 岸 本 卓 也
荒 木 一 成
小 野 真 行
堀 隆 子
山 際 貴 子
高 橋 節 子
中 野 啓 明
齊 藤 裕 子
澁 谷 一 男
澁 井 涉
本 多 郁 代
萩 野 真 美

事 務 局 高 橋 昌 利
永 井 裕 子
小 林 淳 一
幹 事 羽 田 雄 緯
白 崎 秀 典
諸 橋 利 香
畠 山 明 大



「公益財団法人新潟教育会 後援会」ご入会のお願い

新潟教育会は、後援会の財政援助により事業を推進しております。新潟教育会の目的に賛同される方は、ぜひご入会をお願いします。入会いただける方は、下記事務局までご連絡ください。必要書類等を送付いたします。（後援会事務局 連絡先 TEL：025-222-2971）

新潟教育会館をご利用ください!!

令和6年度は、のべ204団体2,716人の会館利用がありました。今年度も予算を有効に活用して、利用者のニーズに合わせた環境整備を進めていきます。今年度上半期には、会議室・相談室の椅子の入れ替え、トイレの洗面台・壁紙のリニューアルを行う予定です。Wi-Fi 環境も改善しました。どうぞ、ご利用ください。（利用料は無料です）

新潟教育会事務局へ事前に予約をお願いします。TEL：025-222-2971 E-mail：jimu@kyouikukai.jp

